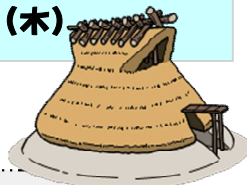




三保生涯学習交流館



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年8月10日(木)

「低学年の子どもにも無理なく進めることができ、 子ども向け講座として適切なものでした。」

三保生涯学習交流館が、夏休み子ども講座の一つとして、ミニはにわ作りを通して、古代人の思想や生活様式に思いを馳せ、郷土の遺跡や史跡等の文化遺産に対する興味や関心を高める目的で企画し、小学1年～6年までの20人がミニはにわ作りを行いました。



ミニはにわ作り体験

初めに、はにわについての説明をしました。はにわが作られた理由や、古墳に置かれた理由など古墳時代のことを簡単に話しました。低学年の子どもたちには、少し難しかったかも知れませんが、真剣に聞いていました。

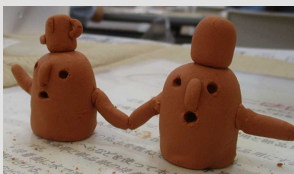


「作るのが楽しかった。」

次に、ミニはにわの作り方を説明し、いよいよ子どもたちが粘土をこねて作り始めました。

土の粘土に少し手こずり、上手くまとまりません。ひびが入ってきれいにならない子もいました。それでも進めて行くにつれて、個性豊かなはにわができました。粘土が余るとミニミニはにわを作り、ミニはにわに合体させるなど、次々にアイデアが溢れ出して、可愛いはにわが出来上がりました。

「はにわを作るのは大変なんだと思った。」



担当者の感想

「夏休み子ども講座として企画したもので、多くの子どもたちの参加があり、ねらいに沿った講座でした。低学年の子どもにも無理なく進めることができ、子ども向け講座として適切なものでした。センターの職員さんは、子どもたちに対し親切な対応と説明や質問への対応もとても良かったです。来年もぜひ企画して開催したいと思います。」

